

<p>児童の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に対して、自分自身でテーマや「問い」を決定することができない。</li> <li>・「探究」していく過程で、調べたことから解決しなかったこと、疑問に感じたことを次時や次のサイクルに追究せずに、そのままにしていくことが多い。</li> <li>・模造紙やPC等を活用して、プレゼンテーションや発表の準備を主体的に行うことができる。一方で、「効果的」に「要点をまとめて」発表することが苦手である。</li> </ul>		
<p>授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>視点1 上二小授業スタンダードの徹底</p>	<p>視点2 読み解く力の育成</p>	<p>視点3 「探究の時間」またはその他の教科との連携</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料や写真、グラフ等を活用しながら、児童が主体的に「めあて」や「課題」を設定できるようにする。</li> <li>・児童が気付いたことや考えたことを常時掲示したり、共有化したりすることによって、常時「問い」を意識しながら学習することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べる」過程で、図書資料やPCの文章を正確に理解できるように、ペアやグループで調べたことを交流したり、確認したりする場面を設定する。</li> <li>・個人の進捗状況を全体で把握できるように、掲示物やデータ等で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の特性上、あらゆる場面で各教科等と意図的に連携させることができるように、単元計画を構想する段階で、どのように連携させることができるかを考え、授業時に実践する。</li> </ul>
<p>その他 授業改善に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを児童が活用できるように、「調べ方」・「まとめ方」・「発表の仕方」等の学習方法を、計画的に指導する。</li> <li>・苦手な児童が孤立化しないように、チームや全体で進捗状況を把握しながら学習を進める。</li> </ul>		

